

様式第7号その1(第10条関係)

(表)

防火対象物使用開始届出書

① ○○○○年 ○月 ○日					
富士山南東消防本部 消防長 あて					
② 届出者 住 所 ○○市○○町○○番地○○					
氏 名 株式会社○○○○					
代表取締役 ○○ ○○					
電話番号 ○○○-○○○○					
所在地		③ ○○市○○町○○番地○○		電話番号 ○○○-○○○○	
名称		④ ○○飲食店		主要用途 ⑤ 3項口	
建築確認年月日		⑥ ○○○○年○月○日		建築確認番号 第○○○号	
※消防同意年月日		⑦		※消防同意番号 第 号	
工事着手年月日	⑧ ○○○○年○月○日	工事完了(予定)年月日	⑨ ○○○○年○月○日	使用開始(予定)年月日	⑩ ○○○○年○月○日
他の法令による許認可		⑪			
敷地面積	⑫ 600 m <sup>2</sup>	建築面積	250 m <sup>2</sup>	延面積	350 m <sup>2</sup>
従業員数	⑬ 10 人		公開時間又は従業員時間	⑭ 11:00 ~ 22:00	
屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要		⑮ 防火水槽(30t)			
その他の必要な事項		⑯			
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

(裏)

②⑥ 防火対象物棟別概要(第 1 号)	用途	①⑦ 飲食店		構造	①⑧ 木造			
	種別 階別	①⑨ 床面積 m <sup>2</sup>	②⑩ 用途	消防用設備等の概要			②④ 消火活動 上必要な 施設	②⑤ 特殊消防 用設備等 の概要
				②① 消火設備	②② 警報設備	②③ 避難設備		
1 階	150	飲食店	消火器	自動火災 報知設備	誘導灯			
2 階	100	事務所	消火器	自動火災 報知設備	誘導灯			
階								
階								
階								
階								
計								

備考

- 1 同一敷地内に2以上の棟がある場合は、棟ごとに、「防火対象物棟別概要追加書類」に必要事項を記入し添付すること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 4 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- 5 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む)を添付すること。ただし、同意調査書等が提出されたものにあつては、当該図面等を省略することが出来る。
- 6 ※印欄は、記入しないこと。

項目	記入要領
① 年月日	届出年月日を記入します。
② 届出者	<p>防火対象物を使用（変更する場合を含む。）開始する者の住所、電話番号及び職・氏名を記入します。</p> <p>また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、テナントを使用開始する者の住所、電話番号及び職・氏名を記入します。</p> <p>なお法人の場合は、法人名及び代表者の職・氏名を記入します。</p>
③ 所在地	<p>使用開始する防火対象物の存する敷地の所在地・電話番号を記入します。</p> <p>また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地の所在地を記入します。</p>
④ 名称	<p>防火対象物の正式名称を記入します。また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、テナントが 存する階を記載するとともに、テナント名をカッコ書きで記入します。</p> <p>例、〇〇ビル（3階、〇〇飲食店）</p>
⑤ 主要用途	<p>消防法施行令別表第一に掲げる用途区分を記入します。また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、当該テナントが存する防火対象物全体の用途とテナントの用途をカッコ書きで記入します。</p> <p>例、16項イ（3項口）</p>
⑥ 建築確認年月日 建築確認番号	<p>建築確認年月日及び建築確認番号を記入します。なお、計画変更があつた場合、当初の年月日及び番号を上段に、変更後を下段に記入します。</p>
⑦ 消防同意年月日 消防同意番号	<p>※消防本部係員が記入します。</p>
⑧ 工事着工年月日	<p>防火対象物又はテナントの工事に着手した日（工事を行わない場合は什器の搬入等に着手した日）を記入します。</p>
⑨ 工事完了（予定） 年月日	<p>防火対象物又はテナントの工事が完了した日（工事を行わない場合は什器の搬入等が完了した日）を記入します。</p>
⑩ 使用開始（予定） 年月日	<p>防火対象物又はテナントの使用を開始する日を記入します。</p>
⑪ 他の法令による 許認可	<p>他の法令による許認可を受けている場合、根拠法令を記入します。</p> <p>例、障害者自立支援法第〇条の許可</p>
⑫ 敷地面積 建築面積 延面積	<p>当該防火対象物の敷地・建築・延面積を記入します。同一敷地内に2以上の棟がある場合は、それぞれの合計を記入します。</p>
⑬ 従業員数	<p>店舗等で従業員がいる場合、その人数（管理職、パート、アルバイト含む防火対象物を使用する全職員数）を記入します。</p> <p>交代勤務など時間等により人数に変動があるときは、全職員数の他に、勤務者数が最大となるときの人数をカッコ書きします。</p> <p>また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、テナントの従業員数と全体の従業員数を併記します。</p>

⑭ 公開時間又は 従業時間	使用開始する防火対象物の公開時間又は従業時間を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあつては、テナント公開時間又は従業時間とともに、テナントが入居する防火対象物全体の公開時間又は従業時間を記入します。
⑮ 屋外消火栓 動力消防ポンプ 消防用水の概要	屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水が設置されている場合、その概要を記入します。
⑯ その他必要な事項	上記記入内容等に特記事項があれば記入します。また、従業員以外で、防火対象物を使用する人数が把握できている場合は記入してください。 例、生徒数〇名・利用者数〇名・定員数〇名
⑰ 用途	当該防火対象物の用途を消防法施行令別表第一に掲げる用途区分に応じて記入します。
⑱ 構造	当該防火対象物の構造を記入します。
⑲～⑳ 階別床面積・ 用途・消防用設備等・特殊消防用設備等の概要	階ごとの床面積、用途、消防用設備等及び特殊消防用設備等の概要を記入します。使用する部分が一部の場合は、占有面積〇㎡/床面積〇㎡と記入してください。 なお、特殊消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水以外の消防用設備等が設置されている場合に、その設備名を記入してください。 階数が多い場合、追加の用紙を添付してください。
㉑ 防火対象物 棟別概要	同一敷地内に2以上の棟がある場合は「1」と記入し、棟ごとに別記様式第3号の2「防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付してください。